

令和8年9月10日

保護者様

基山町立基山中学校
校長 江島 裕章

令和8年度全国学力・学習状況調査（3年生）及び
令和8年度佐賀県学力調査（2年生）の実施結果について（概要）

今年の4月、全国の国・公・私立学校の中学校3年を対象に「令和8年度全国学力・学習状況調査」が、佐賀県の中学校2年生を対象に「令和8年度佐賀県学力調査」が実施されました。今年度の調査結果の概要をまとめましたのでお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることをご理解くださいますようお願いいたします。

【全国学力・学習状況調査 3年生の結果】

○生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要

(1) 特に良い傾向が見られる主な項目 * () は全国平均

- ・「学級では人と違う意見を言っても否定されない」72.4% (67.5%)
 - ・「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」78.4% (78.2%)
 - ・「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」66.4% (65.5%)
- 他にも、「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」などの基本的な生活習慣や「先生は、よいところを認めてくれている」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」など学校や教師との関係に関する質問に対して、全国平均と比較して、良い傾向が見られる項目がありました。

(2) 課題が見られる主な項目

- ・家庭学習の時間や、勉強の為にICT機器を使用する時間が、全国平均と比べて低い傾向にあります。特に勉強時間については2時間以上勉強している生徒は平日で8.2% (30.1%)、土日で11.9% (29.9%)と全国に比べて低くなっています。
- ・平日の1日あたりのSNSや動画視聴の時間が全国と比べ多い傾向にあります。2時間以上の使用で52.3% (49.6%)と半数を超える結果になっています。

○教科ごとの調査結果の概要

※英語は「読むこと」「書くこと」「聞くこと」の3技能のみの集計結果です。また、平均IRTスコアを記載しています。(※)

【正答率】	国 語	数 学	英 語
基山中学校	66.0	57.0	平均 IRT スコア 449
佐賀県	62.0	54.0	平均 IRT スコア 472
全 国	63.9	57.0	平均 IRT スコア 499

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、すべての観点および領域で全国・県平均より高い傾向にあります。
- ・知識及び技能の観点の言語事項領域について課題の見られる問いがありました。品詞についての識別があいまいであったり、長文への苦手意識や読み疲れがあったりしたようです。授業やテストにおいて定期的に振り返る機会をつくる、問題文が何を問うているのかを確認しながら文章を読ませる等の手だてが必要と思われます。

(2) 数学の調査結果概要について

- ・数学全体については、県平均よりやや高いものの、全国平均と同等の結果でした。数と式・図形・関数・データの活用の4領域のうち、図形領域が全国平均を下回っていました。
- ・記述式の設問に対する無解答率が高く、特に図形の証明の設問に課題がみられました。改善策として、証明問題の解法をパターン化して繰り返し証明の問題に取り組むような手だてが必要と思われます。

(3) 英語の調査結果概要について

- ・英語についてはタブレット端末を使ったオンライン方式の調査でした。平均 IRT スコアを見ると全国・県平均に比べ下回っています。生徒の分布状況から本校3年生全体の IRT スコアには幅があることが読み取れました。
- ・多くの設問において正答率が県・全国を下回っています。特に1年の文法事項の定着に課題がみられました。今後、繰り返し書く練習や帯活動においての書くことの活動を多く取り入れ、各表現力を高める手だてが必要と思われます。

【佐賀県学力調査 2年生の結果】

○教科ごとの調査結果の概要

〔正答率〕	国 語	数 学	英 語
基山中学校	66.0	61.7	52.2
佐賀県	58.2	56.7	45.2

(1) 国語の調査結果概要について

- ・すべての領域および観点において県平均を上回る結果でした。文法などの言語事項において課題の見られる設問がありました。学びなおしや反復学習の手だてが必要と思われます。

(2) 数学の調査結果概要について

- ・すべての領域および観点において県平均を上回る結果でした。記述式の設問に対する無解答率が高く、解き方や自分の考えを説明することに課題がみられました。

(3) 英語の調査結果概要について

- ・すべての領域および観点において県平均を上回る結果でした。記述式の設問に対して県平均を上回っていますが、目標値を下回っています。特に聞くことの領域の記述式の設問に課題がみられました。

教科の調査結果より

両学年の国語と数学、2年生の英語においては、おおむね県や全国の平均を上回る結果となりました。一方で、考えや解き方を説明するなどの記述式の解答について無解答が多くみられました。最後まで諦めず課題に取り組もうとする姿勢をはぐくむことが必要と思われます。

3年生については特に英語について課題が見られるため、授業改善はもちろん、基礎的な内容を確実に習得させるとともに、問題の意図を読み取る力や複数の条件を満たす記述力、解答選択肢の要点を捉え、的確な答えを導き出す力を身に付けていく必要があります。

基山中学校の学力向上の取組方針

- 全教科において、単元を通して身に付ける力を明確にした授業づくりを行います。
- タブレットの活用を推進するとともに、課題解決学習を取り入れた授業に取り組みます。
- 小中一貫教育の「家庭学習がんばろう週間」を充実させ学習の質と時間を向上させていきます。
- KIYAMA E-プロジェクト等を通して、英語力の向上を目指します。

保護者の皆様へ（ご家庭での協力のお願い）

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」などの家庭での基本的な生活習慣については十分な成果が表れています。ご協力ありがとうございます。

一方で、家庭での学習の時間や SNS・動画視聴の時間等に課題がみられるようです。基山中学校では、定期テストの時期に合わせて「家庭学習がんばろう週間」に取り組んでいます。この取り組みをきっかけに家庭での時間の使い方の見直しや、日々の家庭学習についてもお声かけやご指導、ご協力をよろしくお願いします。

（※）

IRT 平均スコアとは、テストの正解数だけでなく、問題の難しさなども考慮して、生徒の学力を数値で表したものです。IRT（項目反応理論）では、問題の難易度などと生徒の正答・誤答の状況を分析し、生徒の学力を推定します。例えば、同じ「3 問正解」でも、簡単な問題を 3 問正解した場合と、難しい問題を 3 問正解した場合では、学力の評価は同じとは限りません。IRT は、このような違いも考慮して学力を推定します。今回の結果では、基山中学校の 3 年生英語は 449 で、佐賀県平均 472、全国平均 499 と比較すると低い結果となっています。